

3歳児 森の組・川の組

保育研究シート

2023年2月10日(金)

(担任) 佐藤寛子・佐々木麻美・田村郁

1. 子どもたちの姿

年長児を真似て、数人が水を張ったバケツをこっそり日陰において帰った翌日、分厚い氷に変わっていて歓声があがった。「ぼくも！わたしも！」と触ってみたい人がいっぱいだったが、いざ触れてみると、あまりの冷たさに驚いた様子の子どもたち。感染防止対策の最中に生まれた3歳児にとっては、生まれて初めて身体で感じた「寒さ」だったようだ。

入園から、いろいろな初めてをたくさん体験しながら迎えた3学期。笑ったり、驚いたり、泣いたり、怒ったりと、感情の表現がとても豊かになってきていることを感じる。やってみたいと心が動き、やってみようと体が動き始めた子どもたちの姿を受け止め、一人ひとりその人らしさを發揮しつつ、身の回りのもの、ひとこととの出会いを楽しめるように願い、関わっている。

2. 子どもへの願い（かかわりの視点から）

*自分とのかかわり～戸外でのびのびと身体を動かして遊ぶ～

寒さに負けず、からだを動かす気持ちよさ、ぽかぽかと暖かくなってくる感覚を味わい、戸外で過ごす気持ちよさを十分に味わってほしい。

*人とのかかわり～自分の思いを表しながら、いろいろな友達との関わりを楽しむ～

一緒に嬉しいという気持ちが伝わってくる一方で、違いに戸惑う姿もたくさん見られるようになってきた。自分の思いに気づき、相手にも思いがあることを感じつつ、友達と遊ぶ楽しさをたっぷり味わい、関わりを広げていってほしい。

*もの・こととのかかわり～身の回りのことに自分で気付き、丁寧に取り組む～

身支度など、自分自身のことを自分なりにやろうとしている姿が見られるようになってきている。できる嬉しさをともに喜び、自信につながっていくように援助したい。一方、片付けなどは以前よりも進まなくなっている。みんなで心地よく暮らしていくためにどうしたらよいかを子どもたちと一緒に考えながら取り組みたい。

3. 本日の流れ

時間	幼児の活動	留意点・手立て
9:00 ～9:10	登園 挨拶・手洗い 好きな遊びをする ままごと・井形ブロック・電車・積み木 描画・製作・ごっこあそび(お店屋さんごっこなど) 砂場・固定遊具・おかけっこ ダンス・劇(コート室)	<ul style="list-style-type: none">一人ひとりの表情や様子を受けとめ、身支度や手洗いを促す。自分から気持ちを動かし遊び始められるように援助する。友達と一緒に遊びたい気持ちを支え、周囲の子どもたちにも伝えながら、一緒に過ごす楽しさを互いに感じあえるようにする。遊びの中で、うまくいかずに戸惑っているようなときは、その思いを受けとめ、自分なりに表現できるよう援助する。ものが散在したり場が混在したりしたときには、遊具や材料などを整理して落ち着いて取り組めるような雰囲気づくりを心がける。材料や道具の扱い方はその都度丁寧に伝える。寒い中でもからだを動かす心地よさを感じられるよう教師も一緒に戸外でからだを動かして遊ぶ。4・5歳児との自然な関わりを大切にしながら、3歳児なりの楽しみ方ができるよう、教師で連携して援助する。
10:25	片付け トイレ 身支度 ※靴持ち帰り 集まり 手遊び・絵本など	<ul style="list-style-type: none">片付けではみんなで綺麗にしようという気持ちになるよう促し、場が整い、すっきりした心地よさが味わえるようにする。集まりでは、みんなで体を動かしたり、絵本を読んだりしながら一緒に過ごす楽しさを感じられるように工夫する。降園時には、全体の様子をみながら個々に応じて関わり、落ち着いた雰囲気で帰ることができるようする。
11:00	降園	

<最近の遊びマップ>

<園庭>

鬼ごっこやなまけ屋敷探し
では、一致団結!
いろいろなのがわからぬものを
探し、イメージが広がっている。

<お山>

暖かい日には、うさぎをいいて
ピクニック。ナーサリーの
子どもたちとも一緒に遊べる
出会いの場所。

<砂場>

長いシャベルで「工事です!」と
力を合わせて穴を掘ったり。
かき氷やケーキをふるったり。
おじいさんのごはんを作ったりと
2クラスの子どもたちが一緒に
なってやりとりを楽しんでいる。

<石のすべり台>

この季節によく滑るのか
渠にてダンボールに乗ったり
「1313」など滑稽に叫んだり
わいわいと集まって滑っている。

年長児とのつながりで
マラソン・大糸縄
おさとう・夏みかんなど

「1313」など遊びに
参加したりとする姿を
増えています。

<保育室>

「どう遊ぶ」
机やイスを使って場づくりをし
家や乗り物をイメージしている。
だんだんと大勢が集まくる嬉しい場所。
一方で、自己主張も増え、ぶつかったり、ものを
取り合ったり、友達を避けようとしていたり…
いろいろなやりとりが生まれている。

<保健室>

絵本や牛乳居を読んだり
部屋まで持ってきたり…
遊びの合間にちよと
ほっとする場所になっている。

描画・製作

お面やアートリキリグッズ
を作ったり。「こんなものを
作りたい」という気持ち
を表すようになってきた。

お店やさん

お店台を出した
ことで「はなびやさん」
「はーとくみやさん」など
年長児のようになって
みようとして始めたところ。
これからが楽しみ。

コマ

一人一つずつあでいる
手回しコマ。
好きな色を塗って
だんだん回せるようにな
って、またのがづられ
友達と一緒に遊び
ましょう!

<廊下>

積み木やイスで駆けつけて
観車を走らせたり、電車に
乗ったりと、行き来が生まれ
開拓戦が広がっている。

自分とのかかわり

- 「寒さ」に出会い、手指が痛くて泣き出す人がいた先週に比べ、日中は比較的暖かかったこともあり、園庭に出て遊ぶ人が多かった。コートを着て出かけたり、体が冷えると保育室に戻ってきたりと、寒い時にはどうしたらよいのかを子どもたちなりに考えて過ごしていることが観えた。トイレはやはり間に合わない人が多いので、早めに促すようにしたい。
- ・相撲、滑り台、鬼ごっこと体を動かすと気持ちも温まり、「もっとやろう！」と繰り返し楽しむ姿がたくさん見られた。
- ・やりたいことに自分なりと教師に伝えてきたり、年長組にドレッスを借りて何かに負けたり、好きな車の絵をじっくり描く姿が見られたり、お面を作つて何かになつて楽しんだり。幼稚園を自分の場所にして、よく遊ぶ姿が嬉しい。

人のかかわり

- ・ござを持つて園庭に一緒に出かけたり、砂場でやりとりしながらごっそり作をしたり、鬼ごっこと一緒に手遊びを通して、友達との距離がゆるやかにつながり、繰り返し楽しむ姿が多い。一着が嬉しいという気持ちが伝わってくる。
- ・気の合う友達が出来、誘い合わせて遊ぶ人がいる一方で、友達に興味があり一緒に遊びたいものの、タイミングが悪かったり、思いががすれ違つたりしてうまく遊べず、喧嘩になつたり、戸惑つたりして、見る姿を見られる。自分に思ひがあるように相手にも思ひがあることを少しだつ理解できるようになってほしい。

もの・こととのかかわり

- ・机、椅子、衝立、積み木、ござなど、動かしたり持ち運んだりしながら場作りをし、そこに、さらに物を運び入れ、集めで遊ぶ姿がたくさん見られるようになつてきた。子どもたちなりに身の存在に気づき、イメージしながら遊びに取り入れたりして使おうとしている気持ちが伝わってくる。興味を持つて関わる姿を見守りつつ、時に、抜ききげずに散乱したり、持ち出すことにエネルギーを使いつつ、ものとの関わり方を改めて丁寧に考えていくことが多いと気づかされる。
- ・2月3日の節分のために年長児が少しだつ準備を進めていたが、年少児はその様子にあまり気づく人がいなかつた。当日の朝はさすがに「幼稚園にも鬼が来るのかな？」と心配し始める人がちらほら。太鼓の音で、年長児が登場すると、泣き出したり、動きや表情が固まつたり。慌ててみんなで衝立の陰に隠された。教師が豆の箱(これも年長児が手作りして届けてくれた)を手渡すと、豆がまだ入っていないにもかかわらず、必死にみんなで「おはーそどーー！」と投げ始めた。無事に鬼がないなくなるとホッとして、「こわかったね～」と顔を見合わせる。体験を共有しながら少しだつながらが生まれてきていることを感じる。

*週のねらい

- 戸外でのびのびと身体を動かして遊ぶ
 - 自分の思いを表しながら、いろいろな友達との関わりを楽しむ
 - 身の回りのことについて遊べるように
- うた・手遊び：「ゆげのあさ」「おしくらまんじゅう」「きみのぼうけん」「ひつつきもつつき」。

○戸外でのびのびと身体を動かして遊べるようになる

- ・「立春」が過ぎ、冬の寒さから少しすず春に向かっていくことを意識し、子どもたちの気つきや発見を受け止めながら季節の変化を楽しめるようになる。
- *おにごっこ…逃げたり、追い掛けたりしながら、子どもたちと一緒に手遊びをしたり、追いかけてしながり、子供たちと一緒に身体を動かすことや、みんなで遊ぶ楽しさが味わえるよう援助する。
- *相撲・おしくらまんじゅう…身体を動かしながら、力加減に配慮しつつ、押したりくつたり、教師も一緒に楽しむ。
- *風作り風あげ…親子で遊ぶ日に作った風作りを思い出し、自分で作つてみたり、風を感じながら走り切ると、風があがる感覚を楽しめるようになる。
- *コマ…繰り返しやってみると、色の変化を楽しむ等、一人ひとりの感じていることを捉え援助する。
- 戸外でも楽しめるように、段ボールや板などを場作りに生かす。大事に使い、引き出しまっておくことを個別に伝えていく。

○自分の思いを表しながら、いろいろな友達と関わるようになる

- ・一人ひとりが自分のやさしいことを見つけ、言葉にして伝えたり、思い描いている遊びが進められるようになる。
- ・自分の思つようにならぬ葛藤している時には、その気持ちを受け止め、一緒に悩みながら、どうしたらよいかを考えしていくよう支える。
- ・三和士や園庭、廊下、コート室など、2クラスが混ざり合い遊びを意識し、様々な友達と関わる楽しさが生まれるよう支える。
- *ごっこ遊び・ダンス・白雪姫の劇…何かになりきつて遊ぶ面白さ、友達と一緒に楽しむ楽しさを充分に味わえるようになる。
- *椅子や机を使った製作では、子どもたちの発想を大事にしつつ、安全に楽しく遊べるよう援助する。
- *牛乳パック電車…廊下を行き交う人の動きに配慮し、安全運転で楽しめるようなる。遊び終わったらあと、丁寧に片付けよう足し、支える。
- *製作…用紙・広告紙・新聞紙・空き箱、段ボール片の他、リボンやひも、布なども必要に応じて準備する。
- *一人ひとりのイメージを大切にし、個々の取り組みが互いに見えるような場づくりや、一緒に作ることを楽しめるような雰囲気づくりをしていく。

○身の回りのことに自分で気付き、丁寧に取り組めるようになる

- ・身の回りのことを自分なりにやろうとする姿や友達と一緒に手を捉え、適宜手をかけながら、自分でできる嬉しさや自信につながっていくようになる。
- ・自分の物、友達やみんなの物を大切に感じ、丁寧に扱う気持ちがもてるよう、遊びや生活の場面でタイミングを見て働きかけていく。
- ・外に出る時はコートを着る、外から戻ったら手洗いをする、早めにトイレに行くなど、寒い時期の過ごし方を伝えながら援助していく。
- ・片付けのときには、集まりや翌日の遊びにつながるような声かけをしつつ、きれいな保育室で整いついで集まる心地よさを積み重ねられるようになる。
- ・弁当的には大声を出したり立ち歩いたりすることができないよう注意を促しつつ、安心して食べられるよう一人ひとりの様子を見守る。
- ・降園時の集まりでは、紙芝居や絵本の他、簡単なゲームや電話など、みんなで過ごす楽しさを十分に味わえる内容を工夫し、翌日を楽しみに落ちついで降園できるようになる。

6日（月）	7日（火）	8日（水）	9日（木）	10日（金）
9:10～9:20 登園 手洗い、水分補給 好きな遊びをする	9:10～9:20 登園 手洗い、水分補給 遊びを見つけて過ごす	9:10～9:20 登園 手洗い、水分補給 遊びを見つけて過ごす	9:10～9:20 登園 手洗い、水分補給 遊びを見つけて過ごす	9:00～9:10 登園 手洗い、水分補給 遊びを見つけて過ごす
園庭・園庭でお山で遊び・砂場・相模コマ回し・扇あいだいなど 保育室・廊下・製作ごっこ遊び・クリスマス会・飾りつけ・牛乳パック電車・木製汽車・ブロックなど	10:25 片付け トイレ、手洗い、水分補給 身支度 集まり	10:40 片付け・トイレ 弁当準備 11:00 いただきます 11:20 遊びを見つけて過ごす	10:40 片付け・トイレ 弁当準備 11:00 いただきます 11:20 遊びを見つけて過ごす	10:25 片付け トイレ、手洗い、水分補給 身支度 集まり
11:00 降園	11:00 降園	11:00 降園	11:00 降園	11:00 降園
10:25 片付け トイレ、手洗い、水分補給 身支度 集まり	12:00 片付け トイレ、手洗い、水分補給 身支度、集まり	13:00 降園	13:00 降園	13:00 降園
公園内研修	公園内研修	公園内研修	公園内研修	前日準備

公開保護研究会合→
公開保護研究会合→
前日準備

踊り：「すすめ！だんごむし」「きみのぼうけん」「ひつつきもつつき」。